

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 20 日

事業所名 こばんはうすくら 彦根教室

保護者等数(児童数) 42 回収数 21 割合 50 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18件	0件	1件	2件	・広いスペースがある	工夫をして行っております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12件	3件	0件	6件	・今、何人の職員の方が支援して下さっているのかが分からない	その日の利用人数に応じて職員の配置をしています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9件	3件	0件	7件	・入口を二重にする等の道路に出ない対策をして欲しい	入り口の対策は検討しています。予算と照らし合わせ引き続き検討します。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	16件	4件	0件	0件		相談員さんからの計画と施設内での様子を見て職員会議実地しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	21件	0件	0件	0件	・いろいろと大変だと思います	毎月ワクワクしながらプログラムを職員も考え季節の行事をとりいれています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5件	4件	2件	10件	・なくても良いと思う	お出かけや公園遊び時の目的の一つとしているが、保護者に伝わるようにプログラムを改善していきます。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18件	3件	0件	0件	・プログラムに対しての負担金〇〇円といった大まかなものは聞いている。	職員には説明をするように徹底してまいります
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	19件	2件	0件	0件	・よく見ていただいて、お伝えいただいています。	今後も保護者様と連携し支援につなげていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14件	6件	1件	0件	・なくても良い。日頃のコミュニケーションがとれているから。	今後保護者会等を実施していき保護者様とのコミュニケーションを取れる機会を考えています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14件	3件	1件	3件	・通所されている保護者の方々と話ができ、困り事のアドバイスをいただけて助かります。	今後、保護者間親睦、支援の連携を目的に実地計画していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16件	1件	0件	4件	・まだ不十分なところはありますが、苦情について対応する体勢はできていると思う	ひとつひとつにしっかり向き合い対応していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18件	2件	0件	1件	・十分	今後も引き続き行っていきたいと思えます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15件	1件	0件	5件	・新聞的なお便りがあるといいと思います	月2~3回程度LINEで利用時の様子をお知らせしたり、インスタグラムもはじめています。順次、通信のようなお手紙も発行していける様に検討しています。
14 個人情報に十分注意しているか	19件	0件	0件	2件	・写真や名前が常に掲示されている	施設内で視覚支援を目的に使用していますのでご理解ください。どうしても場合はご連絡ください。	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10件	2件	2件	7件	・よく分かりません	保護者にもっと伝えられるように連絡していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6件	1件	0件	14件	・よく分かりません	実地しているが、保護者にもっと伝えられるように連絡していきます。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	19件	0件	1件	1件	・毎月の予定表を見るのを楽しみにしています。	もっともっと楽しみにして頂ける様なプログラム内容にしています。
	18 事業所の支援に満足しているか	20件	0件	1件	0件	・いつも助けてもらって、ありがとうございます。 ・とても楽しそうに話をしてくれます。	ありがとうございます。これからももっと保護者様、児童に寄り添い支援に努めていきます

269 35 9 62

72%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 20 日

事業所名 こばんはうすさくら 彦根教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		出来ている	必要なもの unnecessaryなものを分けてスペース確保しています。
	2 職員の配置数は適切である	○		適切だと思う	利用人数を確認して配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		なっています。	施設内はバリアフリーになっていてトイレ、各部屋も段差なく車椅子でも移動できる様になっています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的な職員会議	定期的に職員会議を行い努めています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		常に連携に心がけています。	ハードラフもソフトラフもご意見頂いたときはすぐに対応し、職員間で会議を開いています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		本社ホームページに掲載公表している	幹部の職員すべてホームページ確認する
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		相談員さんと密に連絡しています。	いろんな業種と連携を図り評価をうける
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員の向上と質を上げるようにしている	職員会議を行い職員間研修、実際の演習を行っている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		話をじっくり聞くことをしている	隠れたところにもニーズがあることを念頭に児童と関わり支援計画へ活かしている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		本社からのツールを使用変化させている	一定にとらわれなくいろんな視点で行う
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		少人数と個別の支援をしている	子供に合わせて組み分けをする
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		曜日を固定しないようにしている	みんなが参加できる様にいくつかのレベルわけをしたり活動への声掛けなどを行っています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		タイムキーパーを毎日設定している。	活動と活動の切り替えをスムーズなる様に時間を区切り、タイムキーパーによる声かけや音楽で切り替えれるようにしています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		全スタッフの意見を取り入れながら作成している	会議に参加できないスタッフに事前に会議意見書を渡している
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員一人一人の意見を取り入れながら職員間で共有している	朝礼、昼礼をし、その日の担当や役割を決めている
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終わりの反省会をしている	参加できない職員にはメモで渡す
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日連絡ノートの記載と記録をつける	1日1日担当を決め担当した者が責任をもって記録し次の日、報告できるようにしています。
	18 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		職員間で会話を重視しているため常に判断できる体制にしている	職員の気付いた点をみんなで話し合うようにしている
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		職員周知し取り組んでいます	日々試行錯誤して支援の内容をみなおす様にします。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		常に支援に当たってるもの。児童発達支援管理責任者が参加している	職員に負担のかからないようにしている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時や電話で密になっています。	週予定や月間予定の確認を児童からの手紙で確認し、学校の先生に問い合わせしています。宿題の確認やトラブルがあった際は送迎時にお話ししたり来所後は電話確認して対応しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			今後職員配置も考え検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			相談員さんからの情報を主に活用しています。	園生活の様子や個人の性格活動内容等、確認をするようにしています。今後も継続していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			相談員さんに情報提供しています。	相談員さんと連携し情報提供し問い合わせがあれば具体的に回答するようにこころがけています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			助言や研修会に参加している	密に連絡を取り研修を受けていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			プログラムに取り入れている	様々な人との関わり方やルール等を守る学びをふまえて外遊びや公共施設へおでかけするイベントを考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			部会へ参加する様している。	特に人数指定されていない地域会議や講演はいける職員みんなで参加していくようにしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時、お迎え時にで来る限り会話し共通理解をしている	伝達を密に解決すべき点を速やかに解決できるようにしていく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			相談事業所と密になり家族支援する	具体的にどうしたか。その結果も伝え成功失敗例を保護者と共有しています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時重要事項説明書で説明をしている	説明だけではなく理解されているかを確認をとる様にしていきたいと思います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者から相談を受けたときには相談に応じている	定期的に聞いているが個別支援計画書作成の時期だけになっている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			計画検討しているところです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			保護者の方からの相談を受付けた時点で速やかに職員に周知していく	周知のスピードを速くし解決につなげる
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			インスタグラムをはじめたり、月2~3回程度LINEで保護者に活動の様子をお知らせしている。	会報は発行できていないため今後検討していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	○			常に施錠し管理者が鍵を管理している	個人ファイルは常に施錠できるロッカーに置きカギの管理にも幹部のみで管理している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			わかりやすく説明や時には提示物で説明している	不定期でもお子様の様子や保護者様のお声を聞けるようなツール構築していく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			今後、検討をしております
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			職員間連携をしている。	プログラムとして避難訓練をしていないのでした際には保護者にも伝えられるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難場所に指定されているためそれを踏まえ訓練にしている。	マニュアルの設置をしていく

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		児童相談所や市役所の講習参加している	児童相談所や市役所と連携しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		明確に保護者様に説明できる状態にする	その場面になり書類等の配置や職員に周知していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在そこまでのアレルギーある児童がいないが、今後あった時は保護者から聞き取りし対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書を職員の見えるところに提示している	職員会議、朝礼で対策を考えすぐ実行していく。